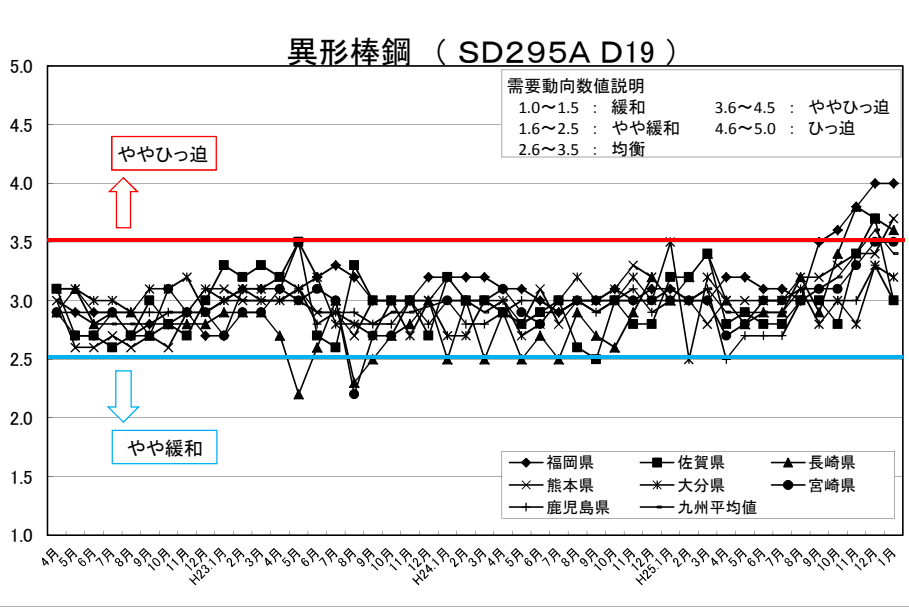
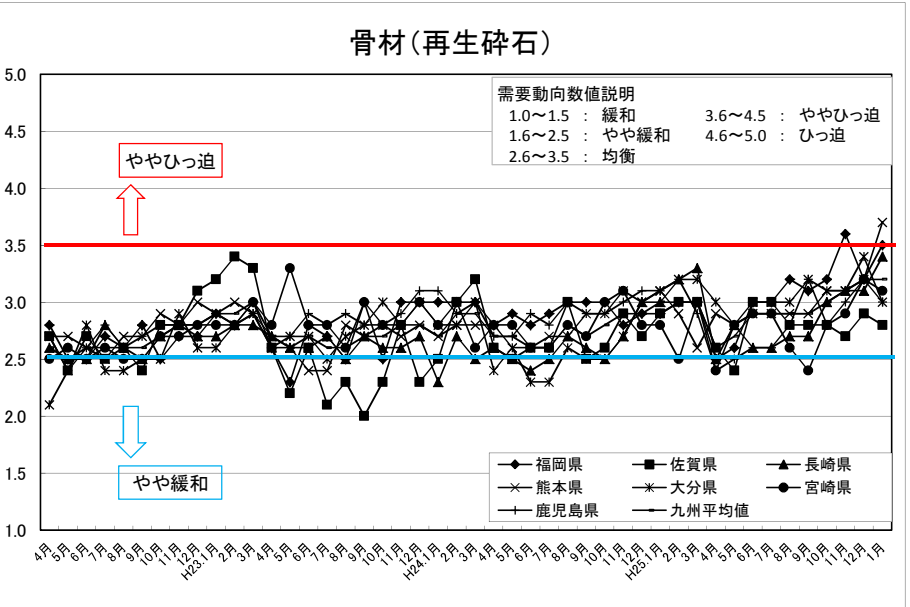
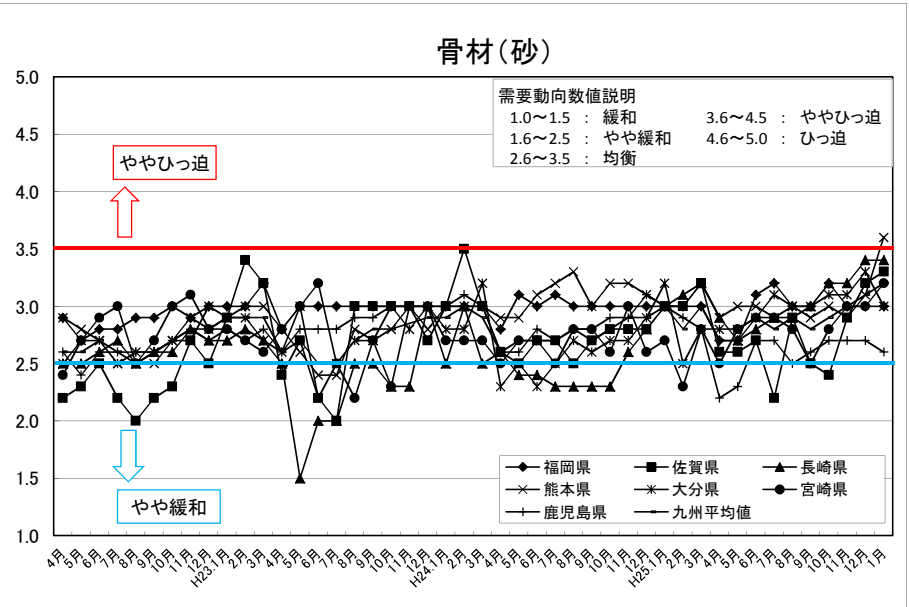
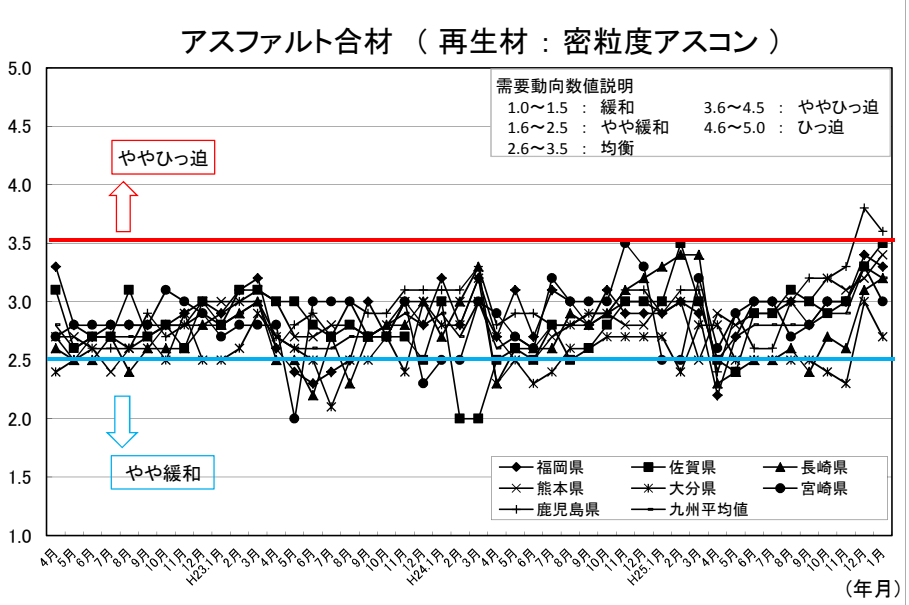
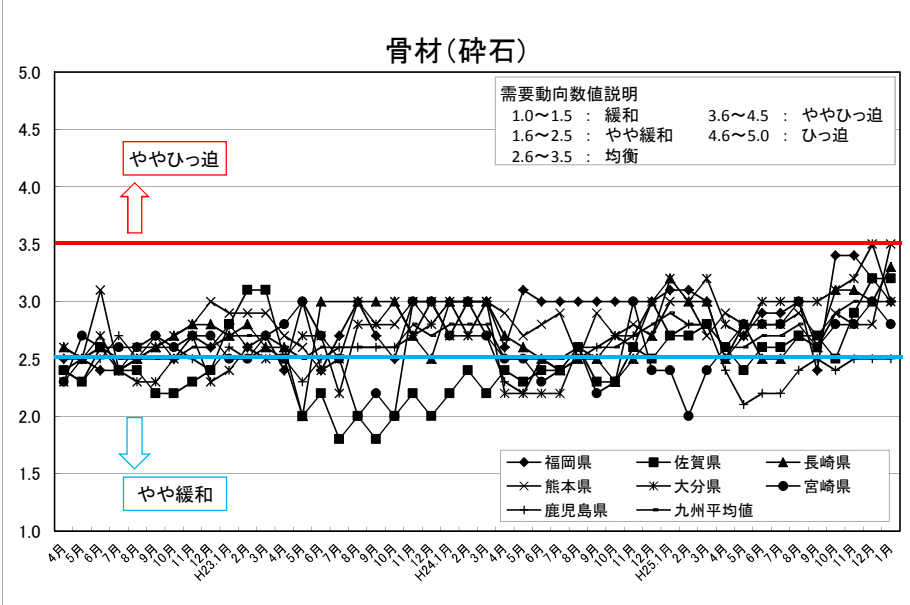
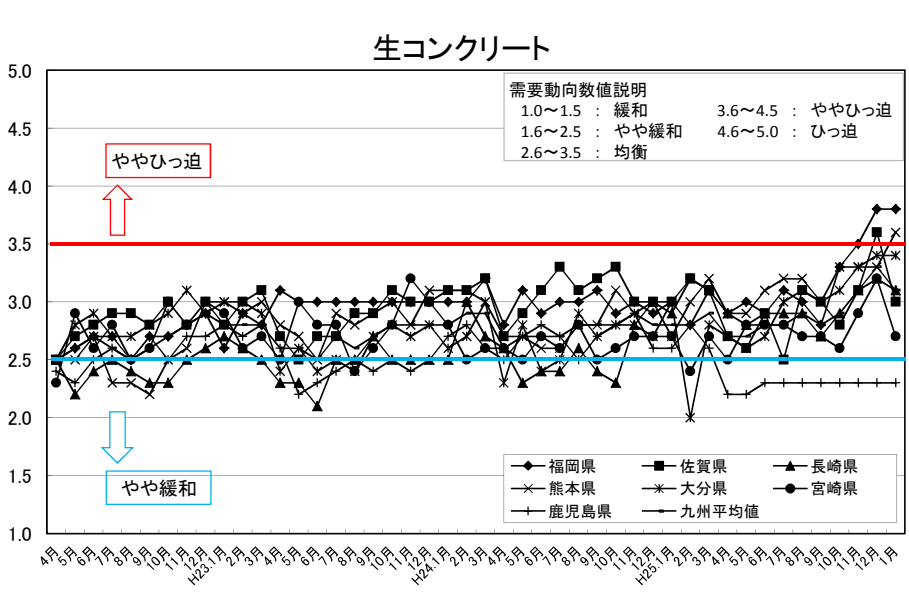
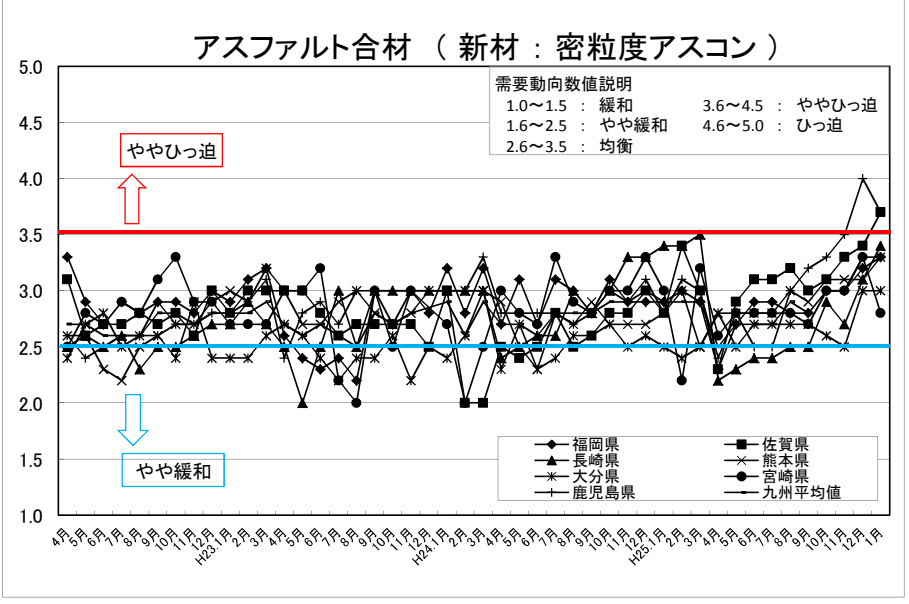
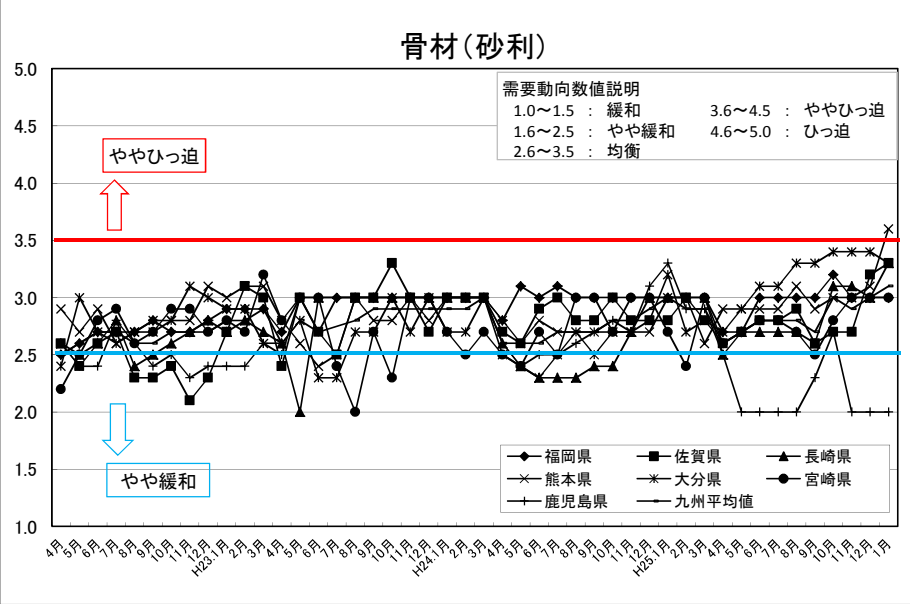
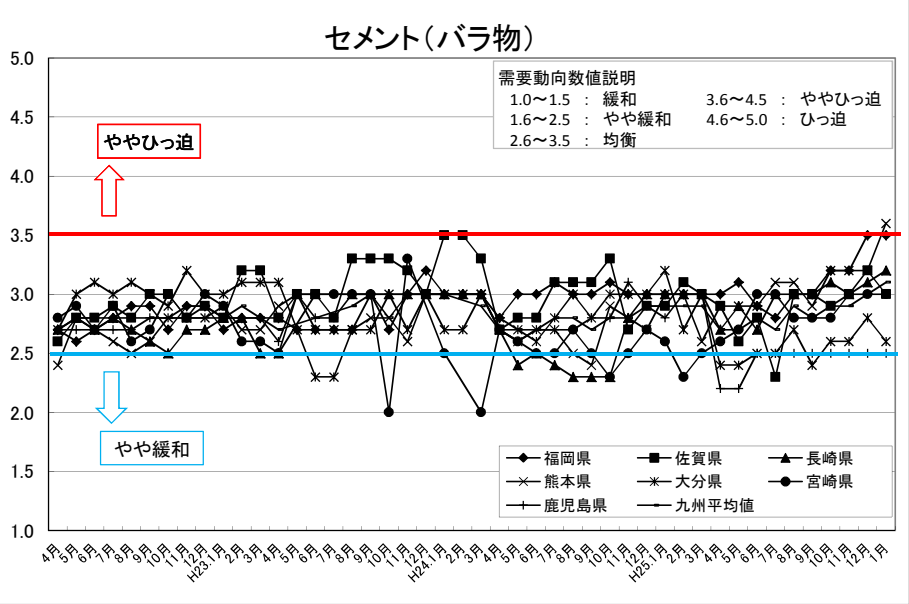
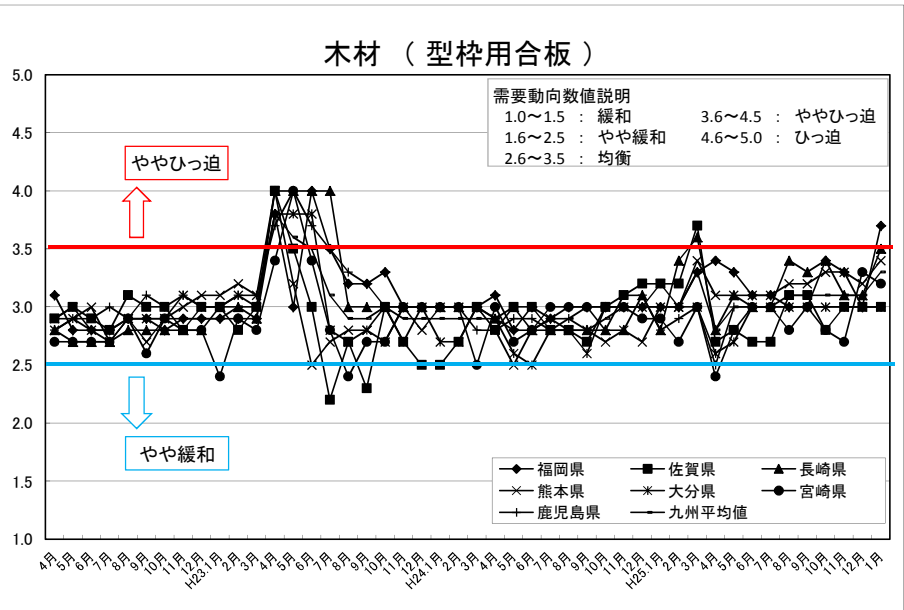
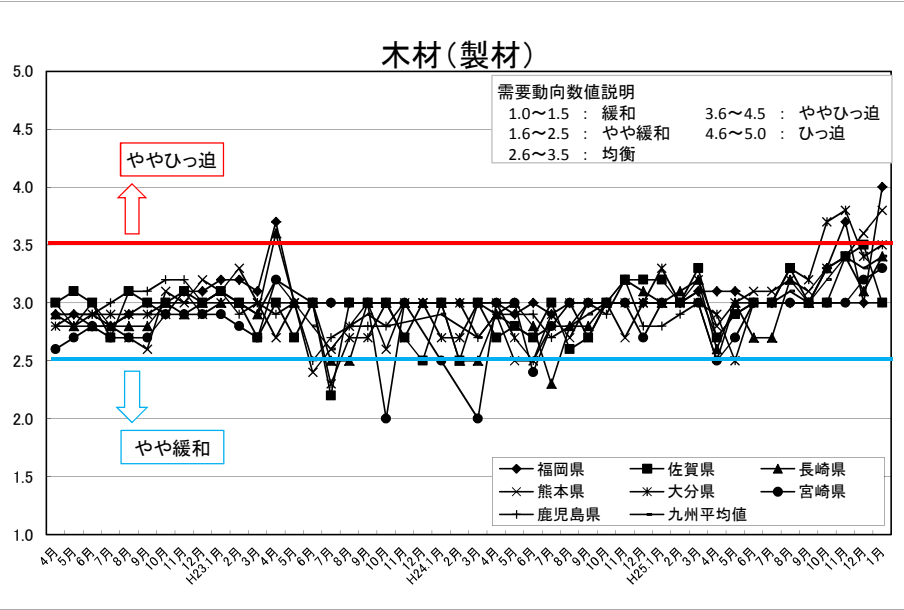
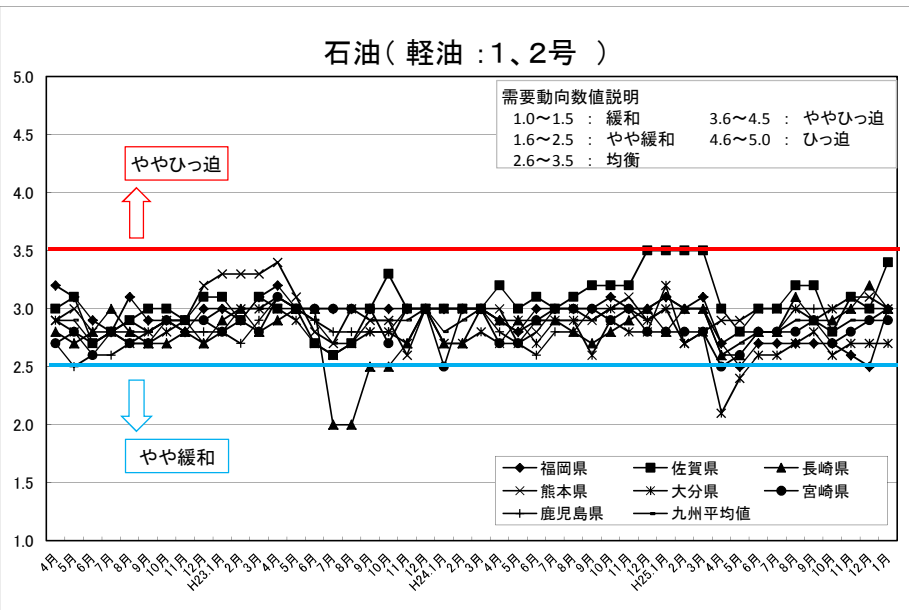
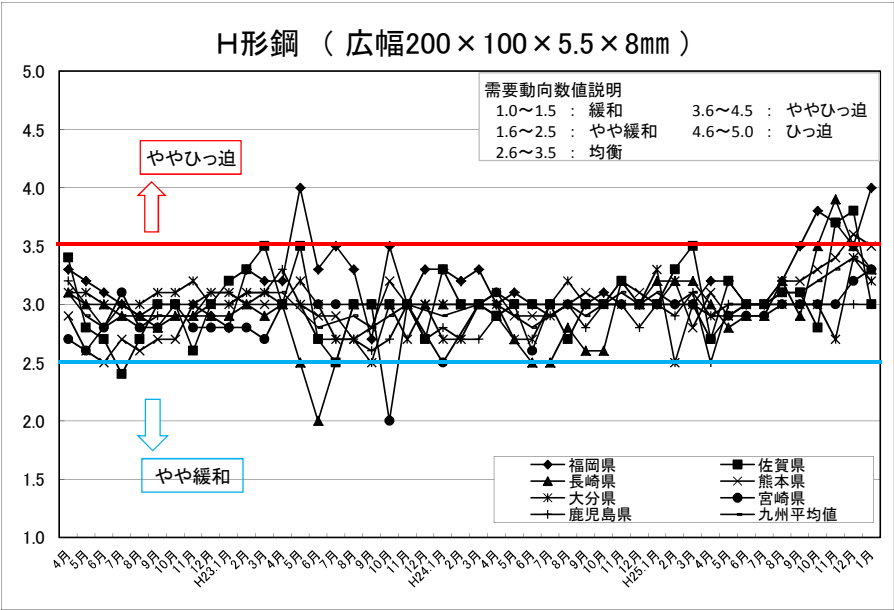






## 調査の概要

### <調査の目的>

主要建設資材需給・価格動向調査(建設資材モニター調査)は、建設工事に必要な主要建設資材の需給、価格、在庫の変動状況を資材別・地域別に毎月把握することにより、建設資材の需給並びに価格の安定化対策を図る基礎資料とし、建設事業の円滑な推進を図ることを目的としている。

### <調査対象地域及び調査対象業者>

- 1)調査対象地域  
北海道、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、四国、九州・沖縄の10地域  
※東日本大震災における建設資材の需給・価格動向を把握するため、当面の間、被災3県(岩手県・宮城県・福島県)での集計を実施。
- 2)調査対象業者  
建設資材の供給側(生産者、商社、問屋、販売店、特約店)と需要側(建設業者)から約2,000社のモニターを選定し、調査を実施している。

### <調査対象資材> 7資材13品目

- 1)セメント普通ポルトランド・バラ物
- 2)生コンクリート建築用(21N/mm<sup>2</sup>-18cm-25mm)
- 3)骨材 ①砂、②砂利、③碎石、④再生碎石
- 4)アスファルト合材 ①密粒度アスコン13(新材)、②密粒度アスコン13(再生材)
- 5)鋼材 ①異形棒鋼(SD295A)D16、②H形鋼(200×100×5.5×8mm)
- 6)木材 ①杉正角・特1等(3.0m×10.5×10.5cm)、②型枠用合板・輸入品(12.0×900×1,800mm)
- 7)石油軽油1、2号

### <調査項目>

各調査対象資材について、以下の項目等についての調査を実施している。

現在及び将来(3ヶ月先)の需給動向(緩和・やや緩和・均衡・ややひっ迫・ひっ迫)

- 「緩和」とは品物が豊富で即納ができる場合
- 「やや緩和」とは品物が比較的豊富で比較的速やかに納入ができる場合
- 「均衡」とは所定の期限内に必要な量の納入が可能な場合
- 「ややひっ迫」とは品不足等で納入がやや遅れる場合
- 「ひっ迫」とは品不足等で納入が著しく遅れる場合

### <算定方法>

現在の需給動向を、1(緩和)、2(やや緩和)、3(均衡)、4(ややひっ迫)、5(ひっ迫)として、各モニターからの回答を各都道府県別に集計し、その平均により算出している